



## 平成 27 年度 『日本文化藝術奨学金』 応募要項

応募期間：平成 27 年 11 月 1 日（日）～11 月 11 日（水）

### ■趣旨

公益財団法人日本文化藝術財団は、日本の伝統文化および現代芸術の保護、育成及び振興を図るとともに、日本の文化・芸術の普及向上にこれまで貢献してまいりました。その取組みの一つとして、育英事業を実施しており、芸術系大学に就学する学生に対し「日本文化藝術奨学金」「加藤定奨学金」の 2 種の奨学金給付を行っています。この「日本文化藝術奨学金」では平成 26 年度より対象を大学院生のみとし、より優れた技量・才能・将来性を評価し支援しています。

※学部生については経済的支援を目的とする「加藤定奨学金」があります。

真摯に芸術に取り組み、将来の日本の文化・芸術の担い手となるであろう学生からの、積極的な応募を期待しています。

### ■選考方法

応募用紙、推薦書、活動実績を示す資料を基に、選考委員会において審査し、理事会にて決定します。

### ■選考委員

木村 博昭	建築家／京都工芸繊維大学教授
寺 脇 研	映画・落語評論家／(特非) ジャパン・フィルムコミッション理事長
成田 宏紀	(社)国際芸術文化振興会理事兼事務局長
原 高 史	現代美術家／東北芸術工科大学准教授
藤本 由紀夫	現代芸術家／京都造形芸術大学教授

(敬称略 五十音順)

□専門委員 ※今年度選考委員の専門外の分野からの応募の場合、専門委員に意見を求めることがあります。

尼崎 博正	農学博士／京都造形芸術大学教授
葛西 聖司	アナウンサー／古典芸能解説者
柏 木 博	デザイン評論家／武蔵野美術大学教授
金 澤 毅	美術評論家／成安造形大学名誉教授
金子 賢治	茨城県陶芸美術館館長
川村 悦子	洋画家／京都造形芸術大学教授
菅野 由弘	作曲家／早稲田大学教授
新谷 尚紀	社会学博士／国立歴史民俗博物館名誉教授
建 島 哲	美術評論家／京都市立芸術大学学長
丹下 憲孝	建築家／丹下都市建築設計代表取締役社長
中村 真規	演芸プロデューサー／大有企画社長
中山 ダイスケ	東北芸術工科大学教授／株式会社ダイコン代表取締役
根岸 吉太郎	映画監督／東北芸術工科大学学長
坂 茂	建築家／坂茂建築設計代表
古山 正雄	国立大学法人京都工芸繊維大学学長
宮島 達男	現代美術家／京都造形芸術大学・東北芸術工科大学副学長
村山 明	重要無形文化財（木工芸）保持者／日本工芸会理事
茂手木 潔子	日本音楽研究科／聖徳大学教授
渡邊 守章	演出家／演劇企画『空中庭園』主宰

(敬称略 五十音順)

### ■募集人数と奨学金

6 名 奨学金 50 万円／1 年間（平成 28 年 4 月、9 月の 2 回にわけて給付）

## ■対象

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

1. 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること
2. 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

ただし、音楽部門は除く。

※ 当奨学金は他の奨学金との重複受給をみとめます。ただし、現在受給または申請中の他の奨学金で重複受給をみとめていない場合は、受給することができません。

## ■報告義務

奨学金の使途については一切問いません。

卒業時に報告書を提出していただきます。

## ■応募受付期間

平成27年11月1日(日)～平成27年11月11日(水)【当日消印有効】

## ■応募方法

規定の出願用紙①～⑤に必要事項を記入し、資料を作成のうえ、指定された添付書類とともに郵送または宅配便にて提出してください。提出先は募集要項の最後に記載しております。

※ 応募書類は日本語で作成してください。

※ 送付用の封筒または送り状に「奨学金願書在中」とご記入ください。

※ 提出書類に不備があった場合は、選考対象外となります。

### <提出書類>

#### □ 出願用紙① 奨学金願書

すべての項目について記入してください。

[活動実績]欄には作品発表、研究発表、受賞歴等を時系列で記入してください。

#### □ 出願用紙② 出願理由・計画書

出願理由および本奨学金受給後にどのような活動を計画しているか(制作・研究・発表など)具体的に記入してください。

#### □ 出願用紙③ 制作・研究資料

制作系の場合は作品または作品発表時の様子がわかる写真(1～2点)および詳細(サイズ・素材・制作年月・コンセプト)、研究系の場合は論文(800字程度にまとめたもの)等、制作活動・研究活動がわかる資料を用意してください。

資料は必ず枠内に貼付してください。複数枚を重ねて貼付、枠外にはみ出して貼付されている場合は、無効となります。

#### □ 出願用紙④ 推薦書

在学中の学校の研究科専任担当教員に記入(自筆で署名・押印)を依頼してください。

#### □ 出願用紙⑤ 活動資料表紙

用紙に記載のとおり資料を作成してください。提出できる資料は資料の種類に関わらず3点までとなります。(例)ポートフォリオ2点+論文1点=3点

出願用紙⑤で作成した資料は返却します。 ※送料は当財団で負担します

ただし受給決定者の提出資料は、当財団資料として提供していただきます。

### <添付書類>

#### □ 在学証明書

在学中の学校の学長の発行するもの

#### □ 成績証明書

在学中の学校の最新のもの

応募書類は日本文化藝術財団ウェブサイトよりご請求ください。  
書式のダウンロードに必要な URL、郵送での書類請求についてご案内します。  
<http://jp-artsfdn.org/scholarship/jpartsfdn/>  
ダウンロードが出来ない場合、または郵送をご希望の場合は、  
メールまたは FAX・電話での資料請求も受付けます。

#### ■結果発表

平成 28 年 2 月下旬予定。

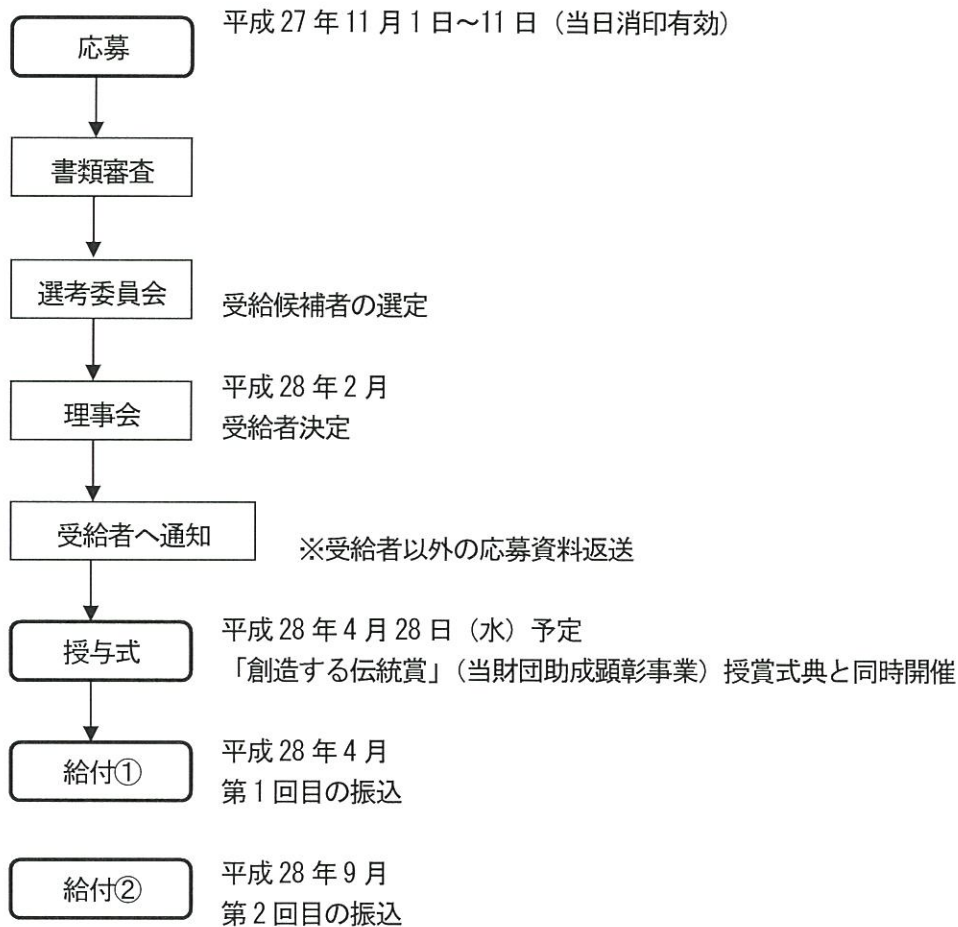
選考結果は応募者本人に対して文書で通知します。(在学・推薦教官への通知はしません)

選考結果の理由に対するお問合せには応じかねますのでご了承ください。

#### ■個人情報について

当財団は、本育英事業の応募により取得した個人情報を、奨学生選考の目的で利用し、この目的に必要な範囲を超えて利用せず、また当財団の委員および役員以外の第三者に提供いたしません。

#### ■応募から給付までの流れ



#### ■提出/問合わせ先

公益財団法人 日本文化藝術財団

〒160-0012 東京都新宿区南元町 13-7 (TEL) 03-5269-0037 (FAX) 03-5363-4837  
(URL) <http://jp-artsfdn.org/> (Mail) [jimukyoku@jp-artsfdn.org](mailto:jimukyoku@jp-artsfdn.org)



# 日本文化藝術奨学金 出願用紙① 奨学金願書

フリガナ						本人写真 (4cm×3cm以上)
氏名						
生年月日	(西暦)	年	月	日	(2015/11/1現在 満 歳)	
性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	課程※	<input type="checkbox"/> 修士	<input type="checkbox"/> 博士(前期・後期)	
大学名				学年		
研究科(研究院)			専攻(部門)			
本人 連絡先	現住所	〒				
	電話			携帯電話		
	E-mail					
その他 連絡先 (実家等)	〒					
	電話			FAX		
学歴 および 職歴	※入学、卒業、休学、転学、退学、予備校、自宅研修等を含んで記入のこと					
	年	月	高等学校卒業 / 大学入学資格検定合格			
	年	月				
	年	月				
	年	月				
	年	月				
	年	月				
活動実績  ※作品発表 や受賞等	※年月を記入したうえで、活動内容を明記 (例)〇〇年〇月 個展「XXXXXX」(△△ギャラリー)					



# 日本文化藝術奨学金 出願用紙② 出願理由・計画書

フリガナ	
氏名	

●制作、研究のテーマ

--

●奨学金の活用目的および活用計画

--





# 日本文化藝術奨学金 出願用紙③ 制作・研究資料

フリガナ	
氏名	

●作品または論文の要約

作品(1~2点)の写真および詳細(サイズ、素材、制作年月、コンセプト)、または論文の要約(800字程度)等、研究・制作活動のわかる資料を枠内に貼り付けてください。複数枚を重ねて貼付、枠外にはみ出して貼付られている場合は無効となりますのでご注意ください。



# 日本文化藝術奨学金 出願用紙④ 推薦書

## ●奨学金申請者

フリガナ	
氏名	

## ●推薦者

フリガナ		所属大学名称	
氏名	⑩	役職名	
		申請者との関係	
所属大学 連絡先	〒		
	電話		FAX

公益財団法人 日本文化藝術財団

代表理事 徳山 豊 殿

平成 年 月 日

私は上記の学生が貴財団の奨学生として相応しいものとして推薦いたします。

## ●推薦事由

応募者の才能・可能性についての具体的な評価をご記入ください。



# 日本文化藝術奨学金 出願用紙⑤ 活動資料指定表紙(貼付用)

フリガナ	
氏名	

提出資料総数	
--------	--

活動資料は全部で3点まで提出可とします。下記要領にしたがい、1資料につき1枚、この指定表紙をつけて作成してください。用紙が足りない場合はコピーして使用してください。

## 活動資料作成要領

※該当する資料にチェックをいれてください。本用紙右上の「提出資料総数」に総数を必ずご記入ください。

		<p><b>【ポートフォリオ】</b> 画像資料、誌紙掲載評論等</p> <p>※書籍・パンフレット等の印刷物の提出は認めません。</p> <p>発行年、部数等の詳細情報をポートフォリオにまとめてください</p>
チェック	<input type="checkbox"/>	<p>◆これまでの応募者自身の<b>作品20点まで</b>を、</p> <p>1ページ1作品としてA4サイズのクリアファイル1冊にまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意のA4サイズの内紙を台紙とする</li> <li>・各作品には作品タイトル、サイズ、素材、制作年月を明記する</li> <li>・作品コンセプトや解説の記入は任意とする</li> </ul> <p>◆作成したクリアファイルの表紙に本用紙を貼付（テープ等ではがれないよう固定）</p>

		<p><b>【論文・文字作品等】</b> 長文資料</p>
チェック	<input type="checkbox"/>	<p>◆任意のA4サイズの内紙<b>10枚以内</b>に印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字数、用紙方向、書字方向は自由</li> <li>・10枚以内に収まらない場合は、要約または特に注目すべき個所の抜粋とする</li> <li>・特に注目すべき箇所がある場合は、マーカーまたは附箋で示すこと</li> </ul> <p>◆本用紙を表紙にし、左側2か所をホチキスでとめて製本する</p>

		<p><b>【DVD】</b> 映像資料</p> <p>※DVD以外のメディアでの提出は資料として認めません</p> <p>※DVDでの提出は映像・パフォーミングアーツ等、ポートフォリオで判断できない分野に限ります</p>
チェック	<input type="checkbox"/>	<p>◆DVD1枚につき2作品まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注目すべき映像が10分を超える場合は<b>10分以内</b>に編集、または注目すべきチャプターを下記記入欄に明記すること</li> </ul> <p>◆市販のDVD用不織布ケースに収納し、本用紙裏側に貼付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本用紙1枚につき、<b>DVD1枚</b>とする</li> </ul> <p>◆本用紙1枚ごとにA4サイズのクリアフォルダーに入れる</p>

DVD詳細 注目すべきチャプター 総収録時間 ( )

タイトル: チャプター:

